(非公開)公衆衛生・医療科学

講師 ・ 北野　隆雄

研究内容

公衆衛生・医療科学

公衆衛生・医療科学

大学院生命科学研究部　環境生命科学　公衆衛生・医療科学分野
講師　北野隆雄
研究プロジェクト名および概要

1. 生活環境の変動と住民の健康に関する生体学的解析

    1. 水俣病に関する疫学的研究
       メチル水銀の八代海沿岸地域住民への健康影響に関する追跡研究
    2. バングラデシュにおける砒素汚染対策を中心とする国際保健に関する研究
    3. 地域住民の食生活とその健康影響に関する研究
       若年女性を中心とする食生活および生活諸要因と骨塩量に関する疫学的・実験的研究
    4. 精神科学的臨床・疫学研究における症状評価、方法論に関する研究

2. 産業環境因子の生体作用

    1. 有機溶剤の生体内代謝と作用機序の解析
       有機溶剤、特に脂肪族炭化水素類の化学構造と生体作用についてラットを実験モデルに生体内代謝と神経毒性の機序の検討
    2. FRP製造職場の作業環境及び健康障害に関する研究
       スチレンによる生体作用の量・反応関係に関する研究

研究内容
　当教室では産業現場におけるリスク因子の生体作用の解明並びに生活環境の変貌とそれに伴う住民の健康に関する地域生態学的研究を進めている。 前者では、物理的因子である手腕系振動障害の生体影響に関する疫学的研究及び有機溶剤曝露による神経障害の発症機序に関する神経生化学的実験研究を行っている。 後者については、水俣病の疫学的研究として、メチル水銀汚染地域の長期追跡調査やバングラデシュの砒素汚染地域の健康影響及び水源対替法の開発研究に当たっている。 また、わが国の生活習慣の歪みに起因する骨粗鬆症についてピークボンマスに達する若年女子を中心に体組成と生活習慣の面から予防医学的研究を実施している。

バングラデシュにおける井戸水の砒素汚染緩和対策の一つとして、身近にある材料を用いた低コストで簡便な砒素除去法を住民に試してもらっている。
イメージの拡大

[キーワード]　生活保健, 産業保健, 水俣病の疫学, 国際保健, 有機溶剤, 健康管理

キーワード

生活保健　産業保健　水俣病の疫学　国際保健　有機溶剤　健康管理